

医薬事業戦略

2019年11月14日

常務取締役 医薬事業部長

西田 健一



本日の発表内容

1

医薬事業実績報告

2

生産体制の取り組み

- ①ニプログループ生産品目毎の数量推移
- ②注射剤工場の増産体制強化
- ③経口剤工場の増産体制強化
- ④ベトナム拠点に関する報告

本日の発表内容

1

医薬事業実績報告

2

生産体制の取り組み

- ①ニプログループ生産品目毎の数量推移
- ②注射剤工場の増産体制強化
- ③経口剤工場の増産体制強化
- ④ベトナム拠点に関する報告

医薬事業各部門 売上高

売上高

単位：百万円

	4-9月 売上高		通期 売上高見込み		
	実績	対前年	実績見込み	対前年	対期初予想
ニプロ医薬事業部 +ニプロファーマ (子会社含む)	29,426	118.8%	60,342	115.1%	
全星薬品工業	6,230	111.3%	11,859	107.4%	
合 計	35,656	117.4%	72,200	113.7%	101.0%

*2019年4月よりニプロファーマ受託営業をニプロに一本化したため、売上の一部がニプロ医薬事業部に移管しております。

医薬事業各部門 営業利益

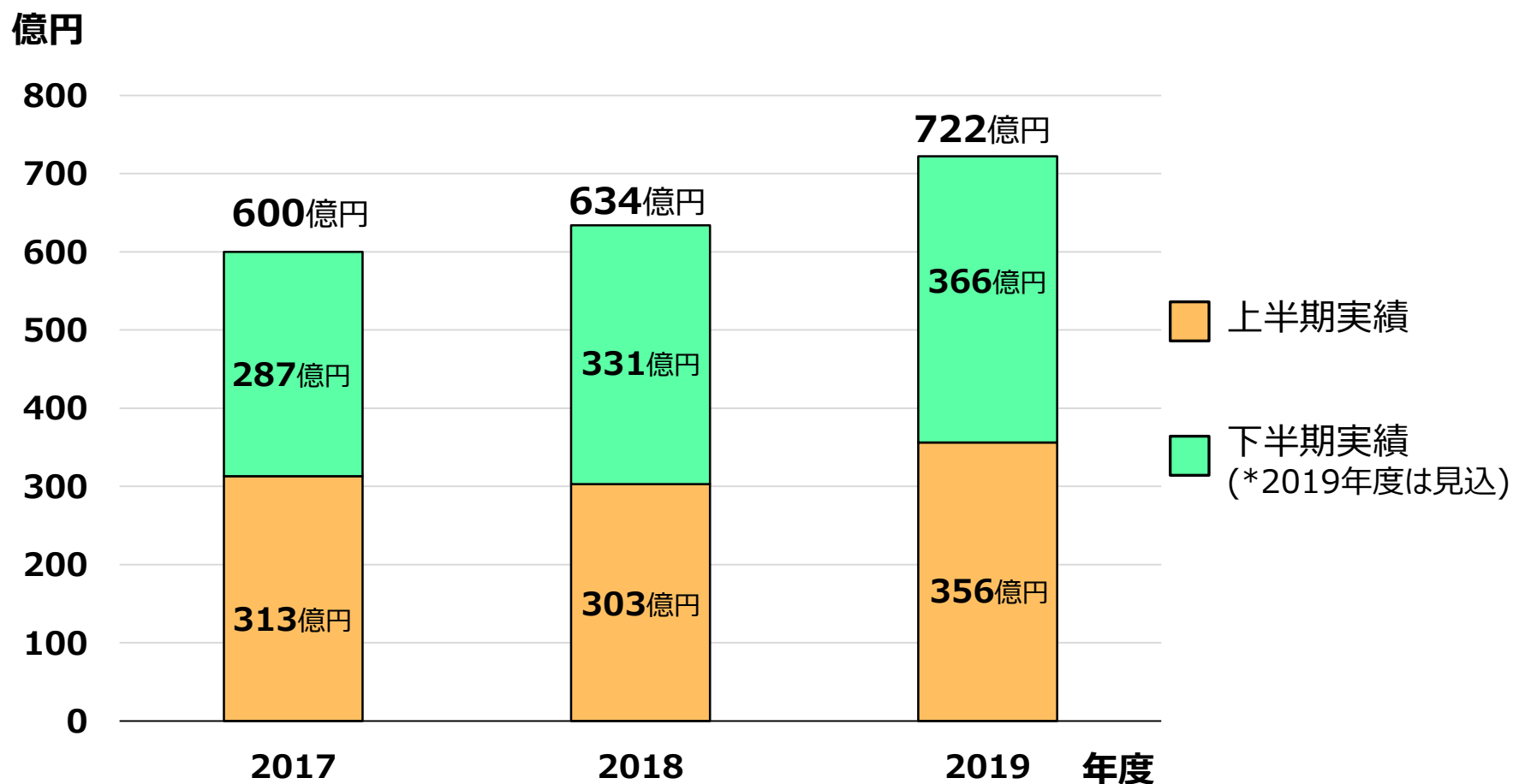
営業利益

単位：百万円

	4-9月 営業利益		通期 営業利益見込み		
	実績	対前年	実績見込み	対前年	対期初予想
ニプロ 医薬事業部	2,225	111.2%	4,775	116.3%	
ニプロファーマ (子会社含む)	2,686	169.9%	5,729	113.8%	
全星薬品工業	1,173	168.0%	1,297	85.2%	
合計	6,085	142.1%	11,800	110.7%	121.6%

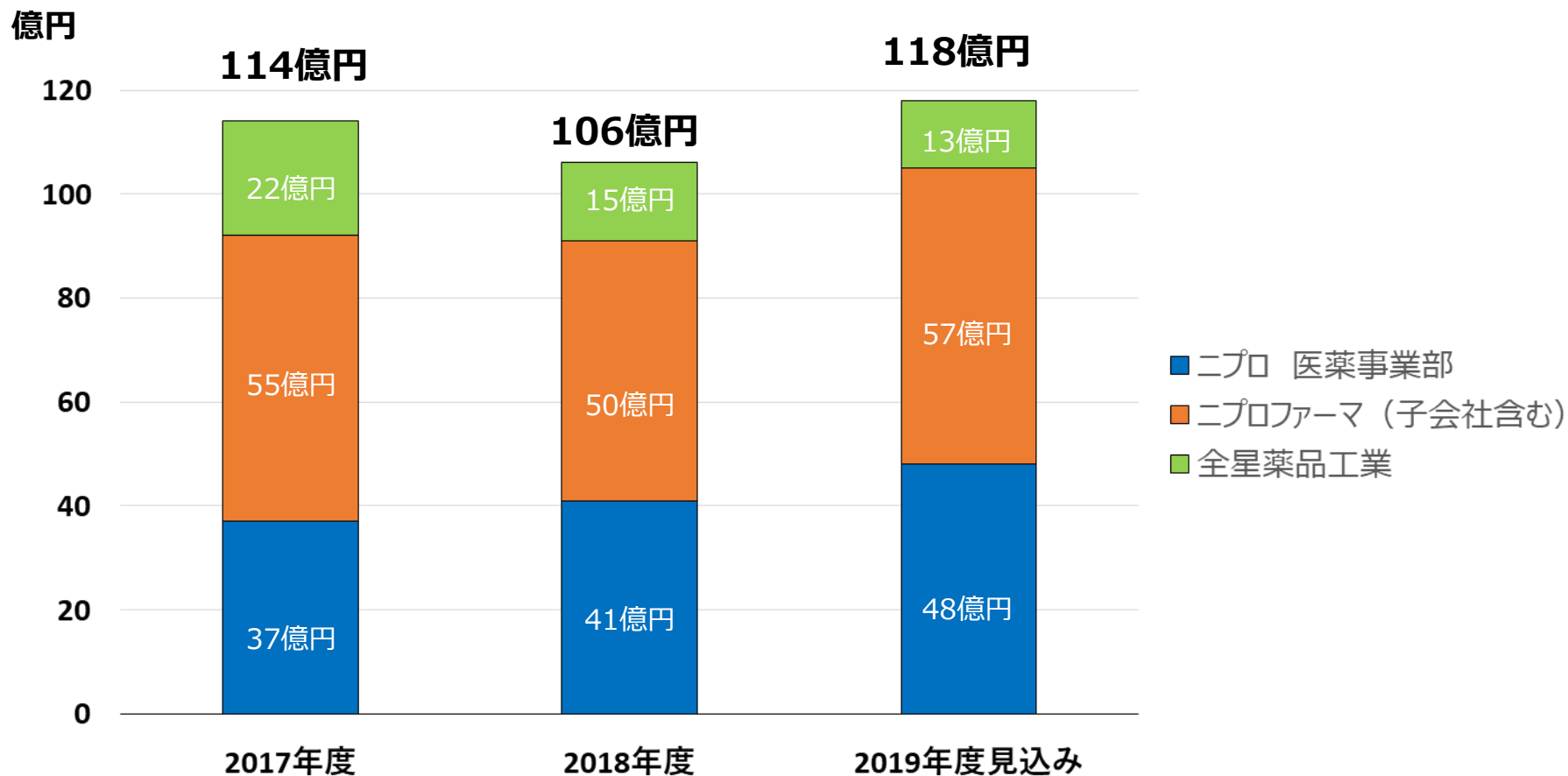
医薬事業セグメント売上高推移

売上高推移



医薬事業各部門 営業利益推移

営業利益推移



本日の発表内容

1

医薬事業実績報告

2

生産体制の取り組み

- ①ニプログループ生産品目毎の数量推移
- ②注射剤工場の増産体制強化
- ③経口剤工場の増産体制強化
- ④ベトナム拠点に関する報告

ニプログループ生産品目毎の 数量推移

ニプログループ生産品目毎の数量推移

剤形	2018年度数量 /2017 年度数量	2019年度見込数量 /2018年度数量
アンプル	106%	121%
バイアル	110%	113%
バッグ（輸液除く）	102%	106%
シリンジ	102%	119%
錠剤・カプセル	110%	109%
細粒・顆粒・散剤・DS	108%	105%

* : 2019年度上期実績と下期予算を元に算出

注射剤工場の増産体制強化

ニプロファーマ 伊勢工場

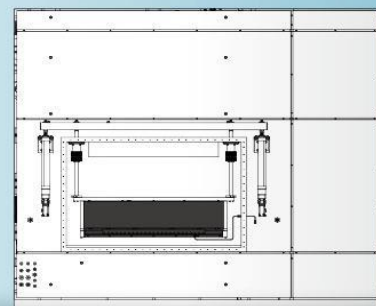


小容量バイアルライン

2020年3月
液充填PV予定



2020年4月～
凍結乾燥機導入



・追加予定サイズ
φ18、23、30

2021年4月
凍結乾燥機
稼働予定

液のみ：2,900万本
凍乾のみ：230万本
※凍乾：4日/ロットとして

生産能力

φ16サイズ
稼働率80%とした場合








・対応バイアル
φ16、22、24



高速プレフィルドシリンジライン

伊勢自動車道



-  QA/QC
-  製造棟
-  製品倉庫
-  ユーティリティ管理棟
-  排水処理設備
-  厚生棟
-  新規シリンジライン



高速プレフィルドシリンジライン 新設

第1号ライン

- ・容量：1~3mL
- ・部材：PP
- ※COP、ガラス将来対応
- ・滅菌：無菌充填
- ・生産速度：300本/min
- ・生産能力：5,900万本/年

第2号ライン

- ・容量：5mL、10mL
- ・部材：PP
- ※成形～充填一連工程
- ・滅菌：充填後滅菌
- ・生産速度：250本/min
- ・生産能力：5,500万本/年



2020年02月



建築着工

2021年09月



設備搬入

2023年02月



生産開始

*写真はイメージとなります

ニプロファーマ 大館工場

徐放注射製剤棟

生産効率化と更なる安定供給
体制の構築

2020年4月 稼働開始予定



自動倉庫棟

2020年3月 竣工予定

4,432パレット（保管数量40%増）



工事状況

経口剤工場の増産体制強化

ニプロファーマ 鏡石工場



中間製品倉庫兼造粒棟の建設

2020年5月稼働予定

ニプロファーマ 埼玉工場

各工程へ新たな設備投資を実施

造粒工程

打錠・検査工程

包装工程

4系統敷設

2系統敷設

1系統敷設

2020年5月据付完了予定

全星薬品工業 岸和田工場



全星薬品工業 岸和田工場 新棟建設計画

● 岸和田工場の生産キャパシティ：25億錠→30億錠へ

2022年に新棟稼働を計画中

新棟＋全体配置イメージ



- ・安全衛生面・運用面の合理化
- ・生産機能の拡張
- ・生産・品質試験ロット数の増加対応
- ・災害時に備えたBCP

ベトナム拠点に関する報告

ベトナム事業の現況

メコファ社*との協業による日本向け製剤の製造事業 * : ベトナム現地の製薬企業



- ・2019年10月 PMDAによるGMP適合性調査に適合
- ・2019年12月 日本向け製品の出荷予定

生産能力
現在 : 5億錠/年、最大 : 20億錠/年

ご清聴ありがとうございました